



健康産業に向けた包接化商品のパイオニア シクロケム

(株)シクロケム(本社・神戸市中央区)は、健康産業に向けたシクロデキストリン(CD)包接化商品でのパイオニア企業だ。同社はCD世界トップシェアのドイツワッカーケミー社のスペシャリティー・ファインケミカル事業の日本総代理店として2002年7月に設立。神戸に本社とシクロデキストリン応用ラボを設置し、CD包接体製品や技術開発、及びビジネス開発に注力。その製品開発力が高く評価され、6年余りで食品・健食分野や化粧品・衛生品分野など広範囲に導入され毎年好調に業績を伸ばす。

CDは、とうもろこしなど澱粉由来の環状オリゴ糖で、その内部空洞の中にさまざまな分子を取り込む包接化という性質を持つ。この現象を利用することで、油性物質を水に溶かしたり、物質の安定性を高めたり、臭いや味のマスキングや香料の徐放効果などに活用できる。結合するグルコースの数によって α -CD、 β -CD、 γ -CDと区別され、それぞれに特徴を持つが、同社ではすべてCDを扱い、その目

的に応じて的確な効果が期待できるCDを活用している。

健食分野では安定性と吸収性の低いことが問題とされるCoQ10を γ -CDで包接化し、「吸収性や持続性を高め、他物質との配合では分解される弱点も補うことを発見」、いち早く商品化を進めた。臨床データ構築にも注力、包接化CoQ10では、「美肌作用」、「持久力向上」、「肝機能改善作用」、「血圧降下作用」、「筋肉保護作用」などを発表。「いずれも1日摂取量が20~30mgで効果が示され、包接化CoQ10の吸収性や持続性を証明する一端になったと自負している」という。このほか、 α -CD自体が持つ、コレステロール減少、血糖値上昇抑制、便秘改善、アレルギー改善などを、動物試験やヒト臨床試験などで確認。特許を出願し健康食品にも活用し始めている。最近では γ -CDに包接された成分が腸内でどのように解離し吸収するかのメカニズムを解明。現在も複数の研究が進行しており、その研究成果は海外でも評価され始めている。